

日本子ども社会学会第24回大会  
(於：東京学芸大学)  
ラウンドテーブル III

## 新学習指導要領と子ども子育て支援制度の課題と可能性

人口減少時代における公教育制度再構築の視座を求めて

外国にルーツをもつ子どもたちの学びの今と未来  
角替弘規（静岡県立大学）

### 増加する外国人

- 在留外国人数の量的増加
- 在留外国人の多様化
- 永住化傾向とエスニシティによる違い

「登録外国人統計」「在留外国人統計」各年版より作成



「在留外国人統計」「登録外国人統計」各年版より

「在留外国人統計」「登録外国人統計」各年版より

「在留外国人統計」「登録外国人統計」各年版より

「在留外国人統計」「登録外国人統計」各年版より

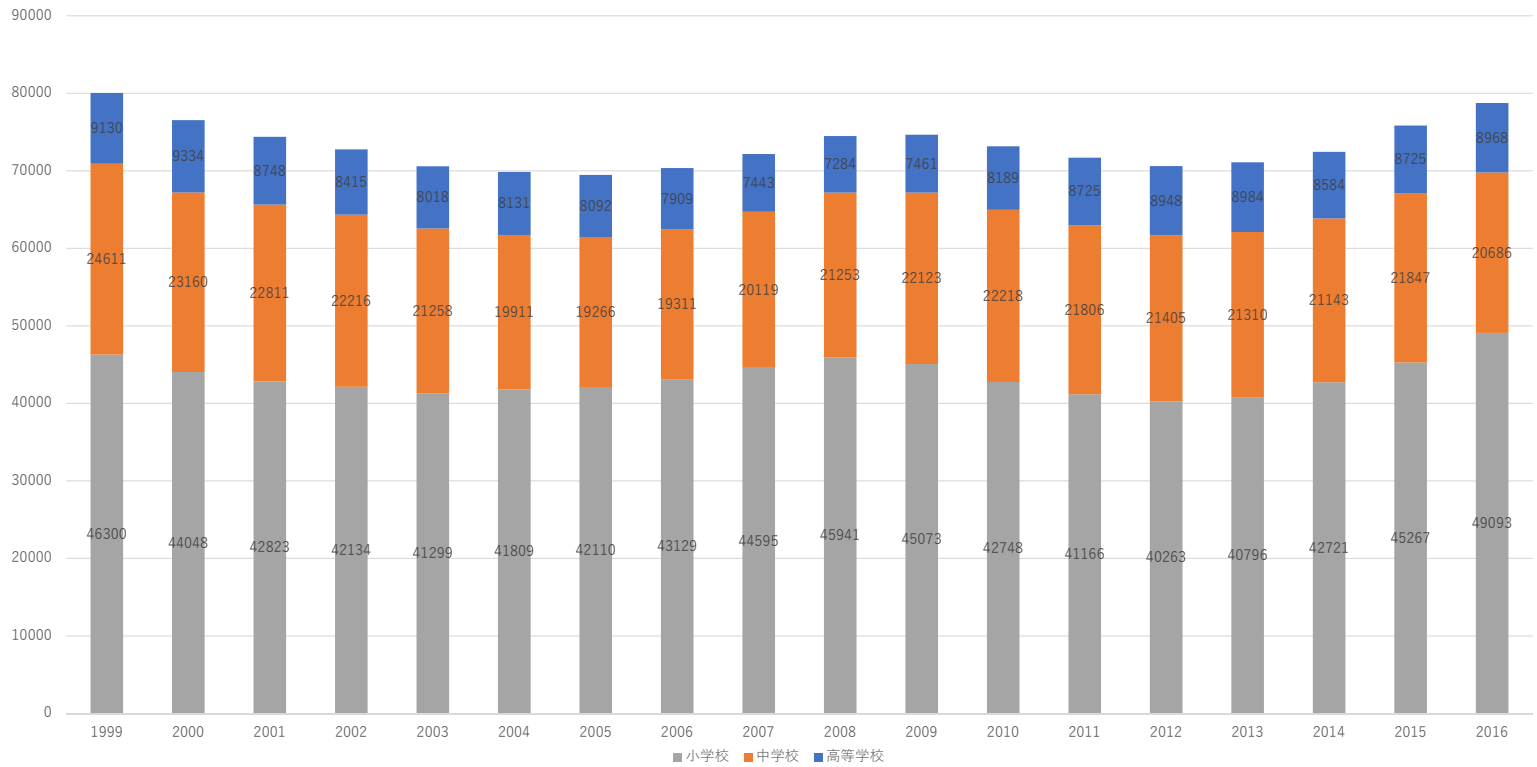
- 外国にルーツを持つ子どもたちが、  
日本の学校においてどのような状況に置かれているのか。
- 日本人（＝日本語話者）であることを大前提とした、  
教育課程、授業、学校生活

学習指導要領 保護者用パンフレット（平成22年・文部科学省）



## 図2 公立学校に在籍する外国籍児童生徒数

(出典：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」各年度版)



## 図3 日本語指導が必要な外国籍児童生徒数の推移

(出典：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査」各年度版)

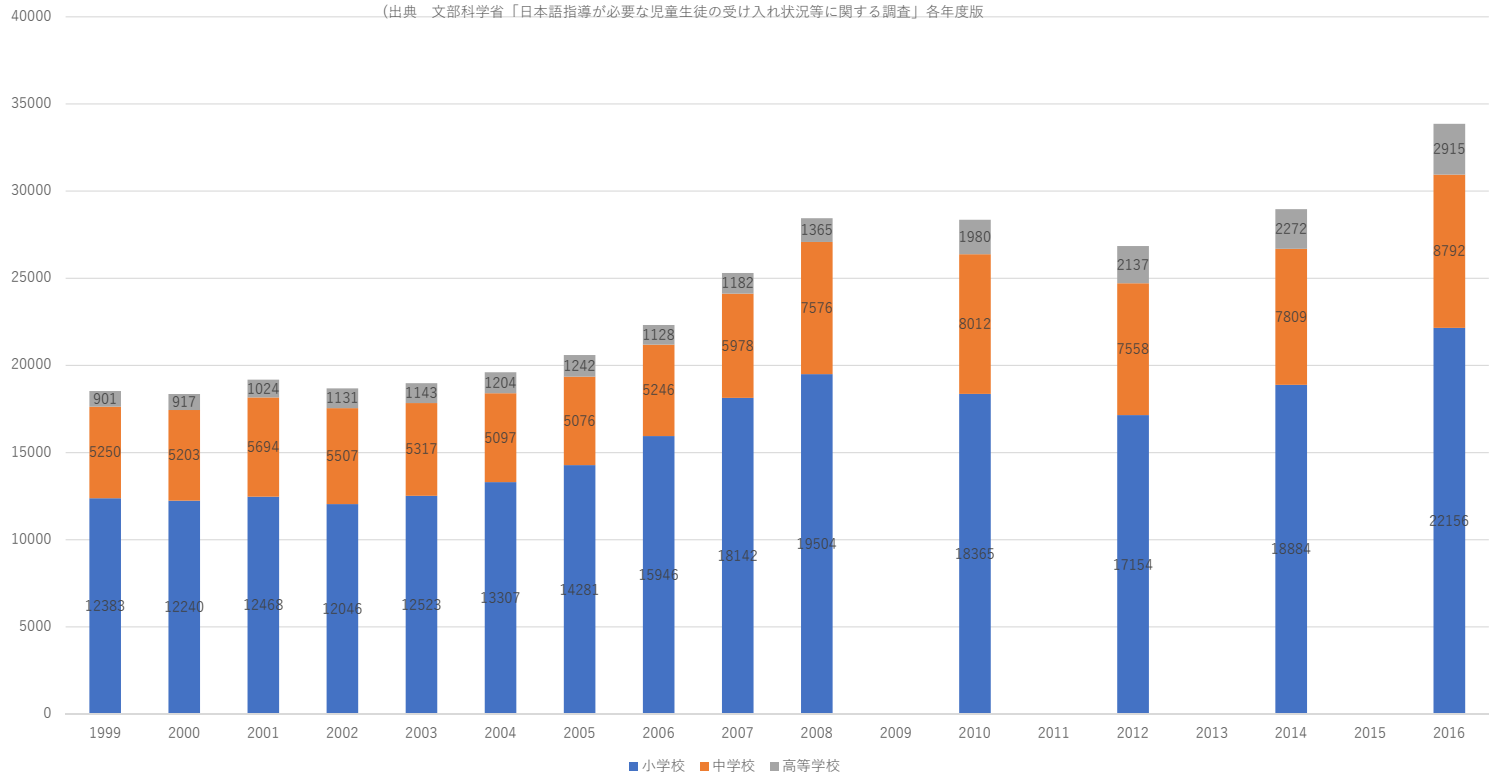


図4 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数

(出典 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」平成28年度版)

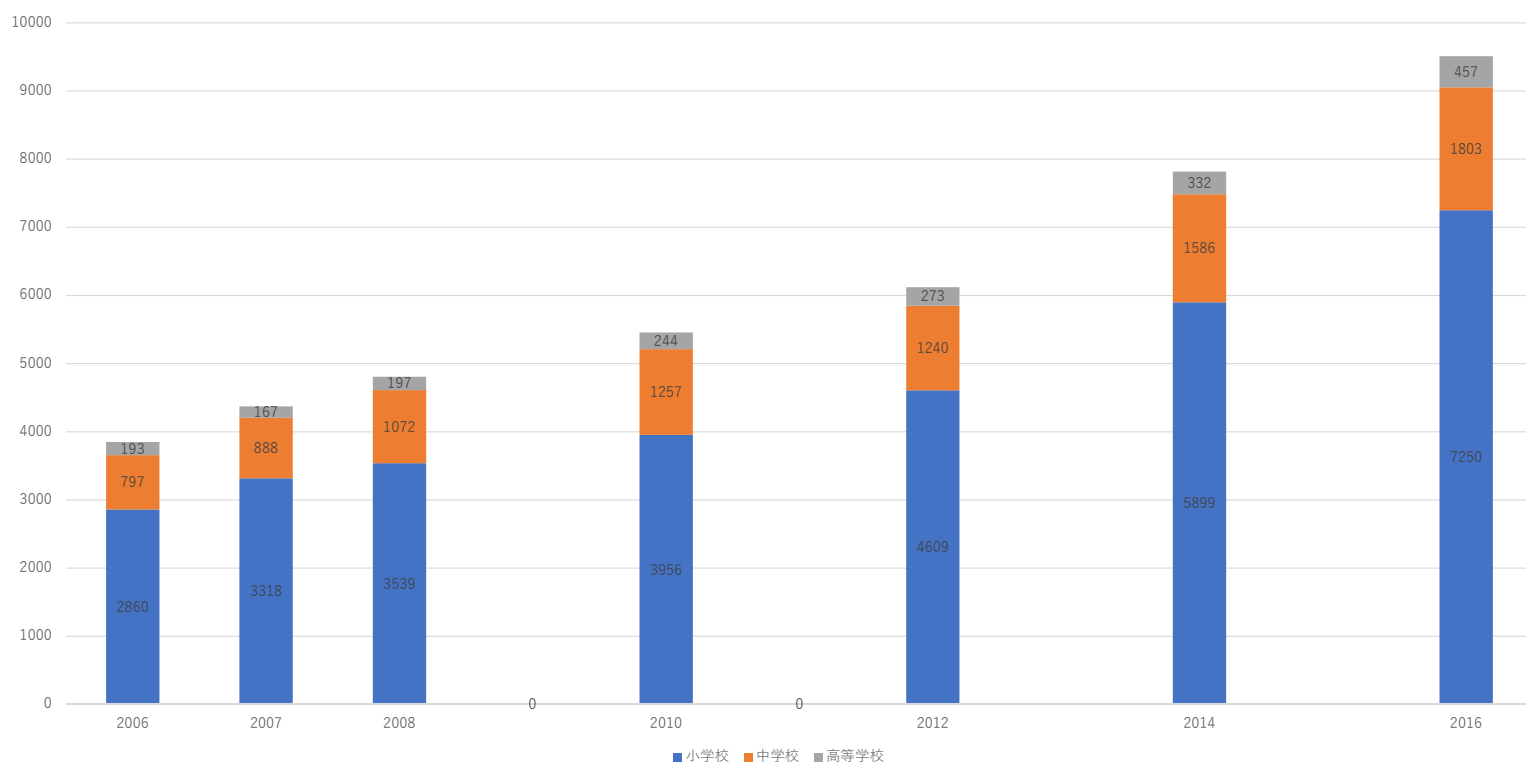


表3 在籍者数別学校数(平成26年度)

	小学校		中学校		高等学校	
1人	1649	37.6%	1015	48.0%	144	34.4%
2人	867	19.8%	387	18.3%	67	16.0%
3人	444	10.1%	182	8.6%	45	10.7%
4人	288	6.6%	103	4.9%	24	5.7%
5～9人	586	13.4%	204	9.6%	61	14.6%
10～19人	330	7.5%	134	6.3%	36	8.6%
20～29人	93	2.1%	49	2.3%	21	5.0%
30～49人	92	2.1%	26	1.2%	15	3.6%
50～99人	29	0.7%	11	0.5%	4	1.0%
100人以上	6	0.1%	3	0.1%	2	0.5%
合計	4384		2114		419	

(出典：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」平成28年度版)

# 外国にルーツを持つ子どもたちの学びをめぐる課題

- 日本語指導をめぐる課題
  - 誰が、どこで、教えるか
  - 指導の必要性和指導の「終了」をいかに判断するか
  - 学習言語の習得とそのフォローアップ
- 保護者との連携をいかに図るのか
  - 言語的な壁をいかに乗り越えるのか（通訳の拡充）
  - 子どもの自立を目指した教育戦略立案の支援

## 外国にルーツを持つ子どもの就学前教育

- 子どもの日本語習得だけでなく、子どもの母語保持への配慮
- トランスナショナルな移動の可能性を考慮した保育
- 保護者との連携をいかに図るのか
  - 保護者の労働状況の見極め
  - 保護者の子ども観、保育観、教育観との相違

- 国籍は異なるとしても、もはや「一時的滞在者」ではない人々
- 特に親世代は母国へ帰国しても、子世代は将来に渡って日本社会を基盤とした生活設計を立てる可能性が高い。
- いかにかれらの教育達成と地位達成を支援するのか。
- 「日本」、「日本人」という枠組みの問い直しが求められる。
- 「特別な支援」という枠の最適化

表4 国籍別 0～4歳人口と構成比

	2006		2008		2016	
	0－4歳	構成比	0－4歳	構成比	0－4歳	構成比
中国	12,763	2.3%	15,764	2.4%	32,782	4.7%
韓国	12,297	2.1%	11,436	1.9%	6,923	1.5%
ブラジル	17,959	5.7%	18,472	5.9%	9,764	5.4%
フィリピン	—	—	—	—	7,370	3.0%

「外国人統計」「在留外国人統計」各年版より作成